



# 100歳以上最多1233人

## 佐伯市「元気の秘訣は動くこと」

〔問①〕現在（9月1日時点）、県内で100歳以上の人数は女性が男性より多くなっています。何人多いでしょうか？計算してみましょう。

### <解答例>

1,114人（女性の人数）  
- 119人（男性の人数）  
= 995人（女性が男性より多い）

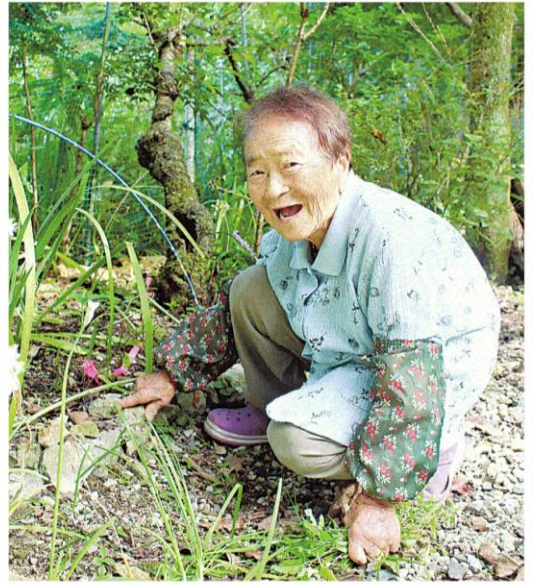
〔問②〕中島瑞穂（みずほ）さんは家事で洗濯物を干す担当をしていますが、それはどんなことを兼ねて（か）ねていますか。記事の中から探して書き出しましょう。

### 背筋を伸ばす体操

18日は敬老の日。県内の100歳以上は男性119人、女性1114人の計1233人（1日時点）で昨年より58人多く、過去最多となった。「人生100年時代」が到来したとも言われ、百寿を超えても地域で元気に生活するお年寄りが増えている。

「毎日やるのが多くて。瑞穂さんが担当する。本当に忙しい。佐伯市長谷の中島瑞穂さん(100)は午前5時半に起床し、自ら作ったみそ汁とご飯を食べて一日をスタートさせた。長女(76)と2人暮らし。家事を手分けし、130センチの小柄な体をせつせと動かす。洗濯物を干すのは背筋を伸ばす体操を兼ねて、

「元気の秘訣は、とにかく動くこと。じっとしていたらよだきくなるから。生きていけるうちは自分で何でもやりたいね」と笑顔を見せる。県によると、県内最高齢はただ一人の明治生まれとなった中津市の広安美代子さん(112)。男性は108歳(氏名、市町村非公表)が最も高齢になる。県高齢者福祉課は「長寿化が進んでいる。生きがいを持ちながら安心して暮らせる地域づくりを支援したい」と話した。(吉田美佳)



庭に出て草取りに精を出す中島瑞穂さん(115日、佐伯市長谷)

庭に出て野菜や花の栽培にいそしむのが日課。月3回は仲間とグラウンドゴルフを楽しむ。要介護認定は7段階のうち最も低い「要支援1」。週に1回通うデイサービスでは腕立て伏せを披露して周囲を驚かせた。

〔問③〕中島瑞穂（みずほ）さんが記事の中で、元気の秘訣（ひけつ）について話していますが、一カ所だけ大分の方言が使われています。その方言を探してみましょう。また、その方言の意味を考えて（調べて）書きましょう。

答え①：下の言葉の中にある大分の方言の箇所を線~~~~~を引きましょう。  
「とにかく動くこと。じっとしているとよだきくなるから」

答え②：方言の意味 <解答例> 面倒（めんどろ）くさい、おっくうだ

〔問④〕県高齢者福祉課は「長寿化が進んでいる」と話していますが、それはなぜだと思えますか。あなたの考えを書きましょう。

### 自由記述